



2024年度版



森の賢者「ふうた」

日本代協は、 今こんな活動をしています!!

損害保険の普及と消費者・保険契約者の利益を守るために、
損害保険代理店及び募集人の資質向上に努めています。

教育・研修活動
調査・研究・及び提言活動
啓発・宣伝活動
地域社会貢献活動
地球環境保全活動



日本代協ホームページ
<https://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協

検索



一般社団法人

日本損害保険代理業協会(日本代協)

代理店及び募集人の資質向上に向けた 教育・研修活動

損害保険大学課程教育プログラムの運営



損害保険
トータルプランナー
認定バッジ

一般社団法人日本損害保険協会（損保協会）は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「保険大学校・認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、2012年7月から展開しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関として、教育プログラムの策定・運営を行い、業界全体の募集人教育を支援しています。

損害保険大学課程の「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを修得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。教育プログラムを受講・修了のうえ試験に合格し、所定の条件を満たした募集人は、損保協会認定の募集人資格の最高峰である「損害保険トータルプランナー」の称号が付与されます。

日本代協アカデミー

顧客本位の業務運営を基軸として積極的に経営努力を重ねる代協会員の自己研鑽を支える日本代協独自の教育制度として、2019年3月に開始し、2023年4月より新システムに移行し、展開しています。

今や保険代理店に必須となっている募集人に対する代理店独自の教育を代理店目線で構築し、学習履歴の記録保存機能も備えたシステムです。「コンプライアンス学習」「公的保険学習」「代理店経営のヒント」など沢山のコンテンツが揃っています。代理店自身の年間教育・研修計画に組み入れて継続的に資質向上を図ることができる環境を提供しながら、保険代理店の世界に「学ぶ文化」を広げていくことを目指しています。

日本代協アカデミーの3つの柱

- i. 代理店経営の高度化に対応するための「組織力強化研修」メニュー
- ii. 募集人一人ひとりのレベルアップを図るための「基礎教育研修」メニュー
- iii. 収益向上のための「実践的研修」メニュー

料率区分	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
料率区分	4,000円	4,000円	3,000円	3,000円
2-4人	12,000円	9,000円	6,000円	3,000円
10-19人	25,000円	18,750円	12,500円	8,250円
20-29人	38,000円	28,500円	19,000円	12,500円
30-49人	55,000円	41,250円	27,500円	17,750円
50-99人	85,000円	64,750円	42,500円	26,250円
100-149人	93,000円	69,750円	46,750円	27,250円
150-199人	120,000円	90,000円	60,000円	30,000円
200-299人	170,000円	127,500円	85,000円	42,500円
300-499人	200,000円	150,000円	100,000円	50,000円
500-699人	250,000円	187,500円	125,000円	62,500円
700-999人	300,000円	225,000円	150,000円	75,000円

日本代協アカデミー
案内チラシ

日本代協アカデミー
申込



代協会員向けセミナー

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに「経営マネジメント」や「防災・減災の取り組み」等、本業に資する様々なセミナーを開催しています。また、総会や賀詞交歓会、記念式典等に保険会社等の業界関係者を招待し、交流を深めています。



岡山県代協
「日本赤十字社による献血推進セミナー」(2023年7月5日)



香川県代協
「保険代理店の未来を継承する心構え
～お客様を起点に成長か撤退かを決める～」
(2023年5月29日)



滋賀県代協
「簡単！すぐにできる！
自分を変えるメンタル睡眠心理」
(2024年1月23日)



埼玉県代協
「仕事をしなくなる仕組みづくりを目指して」
(2024年1月25日)

日本代協コンベンション

日本代協は、全国の代協会員が「集い・語り・高め合う」学びの場として、また、業界関係者を含めた情報交換と経験交流を行う場として、毎年11月に代協会員手作りのコンベンションを開催しています。コンベンションでは、毎年テーマを定め、1日目に功労者表彰とパネルディスカッション並びに基調講演、2日目は基調講演を掘り下げた分野毎の分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。

2023年度は、「シン・代理店価値 ～ニューノーマル時代を迎えて～」をテーマに、4年ぶりとなる懇親会まで開催しました。



式典(2023年11月17日)



功労者表彰



懇親会



分科会(2023年11月18日)

消費者・保険契約者の利益を守るための 調査・研究・及び提言活動



「活力ある代理店制度等研究会」を開催

保険代理業を「若く優秀な人材が活き活きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、加速する環境変化に対応し、将来展望を描ける代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である保険会社4社と、2007年度に「活力ある代理店制度等研究会(活力研)」を立ち上げ、論議を続けています。

2023年度は、7月に「あるべき手数料ポイント制度」「『顧客本位の業務運営』の中で代理店の成長をどう考えるか」をテーマに、3月には「信頼回復に向けた各社の取り組みについて」「代理店手数料ポイントの各代理店への通知について」「大阪代協の意見交換会を踏まえた検討内容」をテーマに、識者の意見も踏まえながら論議を行いました。

保険契約者等の利益保護に資する 募集の公平性の維持

日本代協は、消費者の利益保護のためにはリスク分析や商品提案・説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にしていくことが重要であると考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

保険以外の他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え、災害に便乗した悪質な業者対策等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行い、改善を求めています。

不公正募集

業界標準化に向けた 提言活動

自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域まで無用な競争を拡大させた場合には、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便向上、業務効率化を目的に共通化・標準化が望ましいと考えられる項目を損保協会に提言しています。

【共通化・標準化を提言する検討視点】

- 1 契約者にとっての分かりやすさ・利便性の向上 (トラブル・不信、無用なロードの抑制)
- 2 代理店・募集人の業務効率化 (顧客対応時間の確保、生産性向上)
- 3 保険会社のコスト削減 (保険料引き上げ抑制)
- 4 環境変化への対応 (新たな共通化・標準化領域の検討)

代理店賠償「日本代協新プラン」を提供

日本代協は、保険契約者保護の観点から、資質向上、代理店経営品質向上に努める一方で、万一、契約者にご迷惑をかけた場合(保険業法第283条による賠償事案)の賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

2024年3月末現在 9,461店の代協会員が加入しています。



代理店賠償『日本代協新プラン』のご案内

損害保険の普及に関する 啓発・宣伝活動



学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。

日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、2014年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞(日本代協賞)を提供しています。

2023年度 代協会員が指導し応募した222団体・370作品のうち、8作品が佳作に入選

【佳作】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
岩手県	岩手県紫波町立西の杜小学校 『西の杜小学校4年生片寄グループ』	岩手県代協
山形県	ビクトリーパワーズ『ビクトリーパワーズ』	やまがた代協
山形県	レッドスターズ『レッドスターズ』	やまがた代協
愛知県	中ノ浜キッズ『中ノ浜キッズ』	愛知県代協
熊本県	たくにし☆キッズ『たくにし☆キッズ』	熊本県代協
大分県	ポラリス児童クラブ『6年ズ』	大分県代協
宮崎県	えがおでみらいをまもれなかよし探検隊 『えがおでみらいをまもれなかよし探検隊』	宮崎県代協
鹿児島県	T.Kキッズ『T.Kキッズ』	鹿児島県代協

高校生の自動車リスクへの対応

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起こした場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。

2023年度
7代協 35校
5,042名



茨城県代協(2024年1月10日)



福井県代協(2024年1月17日)

大学での 保険募集関係の講座

損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協の会長等が講義を受け持っています。

また、講師のスキルアップ・均質化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師(日本代協認定講師)の育成にも努めています。

2023年度 6名(通算66名)育成

消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。

2023年度は4代協で懇談会を開催



東京代協(2023年11月10日)



岐阜県代協(2023年11月14日)

お客さま向け情報誌 「みなさまの保険情報」 の発行

お客さまに常に新しい情報をお届けするためのツールとして、情報誌「みなさまの保険情報」（年4回発行）を代協会員に郵送し、現在約5万部が利用されています。



『みなさまの保険情報』

メディアを活用したPR

日本代協は、「保険代理業の仕事の魅力と存在意義」を伝えるための広報活動を展開しています。今年度は、「保険を選ぶ前に代理店を選ぶ、という考え方。」に基づき、「保険代理業（保険募集人）は、損害保険の提案や事故のアドバイスを通してお客さまのお役に立ち、寄り添うことができる存在である」という仕事の魅力と存在意義をPRし、若い世代を中心に浸透させていくことを訴求した2本の動画を作成し、現在日本代協YouTubeチャンネルで公開しています。



日本代協
YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCEULgRmix78mEWqug-UkBLQ>



地震保険の啓発・普及促進

日本代協は、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。



鹿児島県代協 (2023年10月25日)



やまがた代協 (2023年11月28日)



長野県代協 (2023年12月9日)

無保険車追放の取り組み

交通事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、毎年9月に国土交通省と共同で、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的とした「無保険車追放キャンペーン」を実施しています。



三重県代協
(2023年9月15日)



秋田県代協
(2023年9月21日)



佐賀県代協
(2023年9月25日)

自動車等の盗難対策

日本代協は、2012年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム（警察庁主管）」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、損保協会が、10月7日「トーンン（盗難）防止の日」に盗難多発地域で行っている街頭啓発活動を該当地域の代協が協力しています。

地域社会貢献活動



各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでいます。

2023年度は39代協で計203回の活動

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

2023年度は8代協・6ブロックで計14回の公開講座を開催し、998名の参加

交通安全



山口県代協
夏の交通安全キャンペーン
(2023年7月13日)



岩手県代協
飲酒運転撲滅街頭キャンペーン
(2023年12月1日)

献血



神奈川県代協
(2023年6月2日)



富山県代協
(2023年10月29日)



福島県代協
(2023年11月11日)

社会貢献活動



熊本県代協
ペット同行避難所用 折りたたみ
サークル寄贈(2023年7月10日)



北海道代協
タオルボランティア
(2023年8月9日)



兵庫県代協
「第11回神戸マラソン」ボランティア
(2023年11月19日)

公開講座



大分県代協
「『温故知新』と『居安思危』で大地震を凌ぎ『転禍為福』」
(2023年10月28日)



鳥取県代協
「山陰の地震と日本列島の大地変」(2024年1月17日)

「子ども110番の保険代理店」の 全国展開

日本代協と全国47都道府県代協は、助けを求めてきた子どもを保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動を展開しています。

代協会員が警察・地域住民・学校関係者などと相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子どもたちが安全に暮らせる環境づくり」をより一層、支えていきたいと考えています。



「子ども110番の保険代理店」ステッカー

地球環境保全活動



地域の海岸・河川、道路、公園等の清掃活動を行っています。

2023年度は、
32代協で計64回、2,116名が活動

清掃活動



高知県代協
仁淀川清掃活動
(2023年5月27日)



福岡県代協
ラブアース・クリーンアップ2023
(2023年6月11日)



青森県代協
第38回奥入瀬川クリーン作戦
(2023年8月27日)



和歌山県代協
和歌山駅おもてなし大清掃
(2023年10月15日)



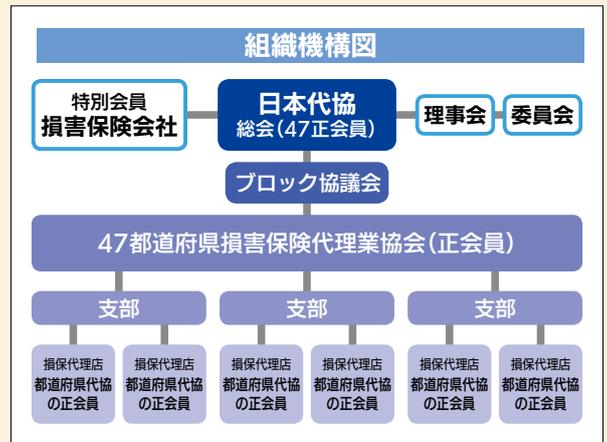
愛知県代協
豊川稲荷清掃奉仕活動
(2023年10月21日)



新潟県代協
弥彦神社清掃
(2023年11月3日)

概要

- **設立**
昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行
- **目的**
都道府県損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。
 - ・ 損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
 - ・ 損害保険代理店の資質向上
 - ・ 損害保険事業の健全な発展への寄与
 - ・ 幅広く社会に貢献するための活動
- **組織**
本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。
- **代協会員(代理店)数**
10,771店(2024年3月末現在)



一般社団法人
日本損害保険代理業協会



〒100-0004
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3階327区
TEL:03-6281-8356 FAX:03-6281-8358
URL: <https://www.nihondaikyo.or.jp/>